

2024年8月30日

国連気候変動枠組条約第29回締約国会議（COP29） 環境省主催「ジャパン・パビリオン」へ初出展

日立造船株式会社は、このほど、2024年11月11日～22日にアゼルバイジャン共和国の首都バクーで開催される国連気候変動枠組条約第29回締約国会議（COP29）において、「ジャパン・パビリオン」に出展する企業の1社として環境省に採択されましたので、お知らせします。

国連気候変動枠組条約締約国会議（COP）は、国際機関や各国の政府・自治体・NGO・企業等のリーダーらが集結し、地球温暖化抑制に向けた国際的な方向性やルールについて議論する国際会議であり、1995年から開催され、今回で29回目を迎えます。「ジャパン・パビリオン」は、展示やサイドイベントを通じて、日本の優れた製品・サービスや気候変動への取り組みを世界に向けて発信、交流する場として、環境省が主催しています。当社がCOPの実地展示に出展するのは初めてです。

当社は、「革新的な廃棄物処理システムで実現する循環経済とGHG^{*}排出ネット・ゼロ」をテーマとして、CO₂の高効率回収を実現する廃棄物燃焼技術の中核としたシステム・パッケージを展示します。このシステム・パッケージは、廃棄物由来の電力や再生可能エネルギー、さらには海水淡水化によって得られた水を利用する水電解技術を活用し、海水から酸素とクリーン水素を製造し、製造した酸素を廃棄物燃焼に活用すると共に、水素は効率的に回収したCO₂とのメタネーション反応によりe-メタンへと変換することで、化石燃料の代替資源として循環利用が可能となります。また、当社が有する廃棄物発電、風力発電、海水淡水化、水電解、メタネーションという技術を、現在開発中および社会実装を進めている技術も含めてパッケージとしており、将来に目指すべき脱炭素に向けた廃棄物処理システム全体のあり方の1つを示した展示となっています。

上記展示やセミナーへの登壇等を通じて、当社は様々なステークホルダーの皆さんとともに環境負荷低減に向けて挑戦し、資源循環と温室効果ガス排出ネットゼロ社会の同時実現に向け貢献します。

なお、当社は、本年10月1日に、日立造船株式会社からカナデビア株式会社への商号変更に伴い、COP29へはカナデビア株式会社として出展いたします。

※GHG : Greenhouse Gas（温室効果ガス）

【COP29 概要】

会 期：2024 年 11 月 11 日～22 日

開催地：アゼルバイジャン共和国 首都バクー

ご参考：環境省 報道発表資料「国連気候変動枠組条約第 29 回締約国会議（COP29）ジャパンパ
ビリオン設置に伴う展示の採択結果について」

https://www.env.go.jp/press/press_03631.html

【発表内容に関するお問合せ先】

日立造船株式会社

経営企画部 広報・IR グループ TEL：06-6569-0005

(終)